

# 2018 年度数学教育学会夏季研究会（関東エリア）案内

（主催）一般社団法人数学教育学会 （後援）国立大学法人埼玉大学

松寄昭雄（夏季研究会（関東エリア）実行委員長・埼玉大学）

埼玉大学において、2018 年度数学教育学会夏季研究会（関東エリア）を開催します。  
ふるってご参加下さい。

1. 日程 2018 年 8 月 29 日（水）

2. 会場 埼玉大学 教育学部 A 棟（A113 プロジェクト室・A114 講義室）

〒338-8570 さいたま市桜区下大久保 255 (<http://www.saitama-u.ac.jp/>)

<アクセス>

- ・JR 京浜東北線「北浦和駅」西口下車→バス「埼玉大学」ゆき（終点）
- ・JR 埼京線「南与野駅」下車→北入口バス停から「埼玉大学」ゆき（終点）
- ・JR 埼京線「南与野駅」下車→西口バス停から全ての便が埼玉大学を経由します
- ・東武東上線「志木駅」東口下車→バス「南与野駅西口」ゆき（「埼玉大学」下車）

3. 実行委員会

委員長：松寄昭雄（埼玉大学）

委員：白石和夫（文教大学），石井 勉（文教大学）

顧問：齋藤 昇（鳴門教育大学名誉教授）

4. プログラム

一般発表（午前の部）10：00～12：55	（会場）A114 講義室
-----------------------	--------------

10：00 Out School について（脱学校教育）

渡辺 信（生涯学習数学研究所）

10：25 確率判断と意思決定に着目した数学授業に向けた考察（仮）

—漫画『カイジ』に登場するゲーム「E カード」を用いて—  
長竹翔吾（埼玉大学教育学部，学部生）

10：50 確率の算数授業提案に向けた現代化当時の教科書検討（仮）

本間太陽（埼玉大学教育学部，学部生）

- 11 : 15 速さを考える状況で生じるつまずきについての考察 (仮)  
角松詩織 (埼玉大学教育学部, 学部生)
- 11 : 40 離散グラフのモデリング教材の条件に関する一考察 (仮)  
— $n$  筆書きに焦点をあてて—  
上田凜太郎 (東京都立練馬工業高等学校)
- 12 : 05 ビーチバレー問題への回答に関する一考察 (仮)  
—被験者の指標化に焦点を当てて—  
竹井丈広 (埼玉大学教育学研究科, 大学院生)
- 12 : 30 ジグソー学習法を取り入れた数学授業の実践報告 (仮)  
—異なる立場に立った学習者によるグループ活動を通して—  
塚原康介 (筑波大学附属坂戸高等学校)

ラウンドテーブル 13 : 30~15 : 30	(会場) A113 プロジェクト室
--------------------------	-------------------

—この数学, 一体どんなところで使うの?と訊かれたら—  
—これからの知識情報化社会を生き抜くための数学とは?—

企画代表者: 森 園子 (拓殖大学政経学部)

指定討論者: 船倉武夫 (千葉科学大学危機管理学部)

司 会 者: 中村竜哉 (拓殖大学商学部)

#### 企画説明

- ・ 森 園子 (拓殖大学政経学部)

「この数学, 一体どんなところで使うの?と訊かれたら

—これからの知識情報化社会を生き抜くための数学とは?—」

#### 話題提供

- ・ 中村竜哉 (拓殖大学商学部)

「商学・経営学における数理的内容—ファイナンスリテラシーと数学—」

- ・ 田浦 元 (拓殖大学政経学部)

「経済学・経済統計における数理的内容」

- ・ 船倉武夫 (千葉科学大学危機管理学部), 岡林 徹 (千葉科学大学危機管理学部),  
齋藤伸之 (千葉科学大学学習支援センター), 田口君夫 (千葉科学大学, 非常勤講師)

「看護・医療系における数理的内容—大学生の数学学力と数学教育に対する意識—」

- ・ 堀口智之 (和から株式会社)

「社会が必要とする数理的内容と, その現状」

- 13：30 微積分の記号の意味について視覚的に理解できるようにする  
鈴木啓一
- 13：55 ICT を活用した授業実践に関する一考察  
片江康裕（東京都立科学技術高等学校）
- 14：20 定規ツールの拡大・縮小機能を用いた変化の割合に関するデジタル数学科  
教材開発（仮）  
－小学校の単元「比例」と中学校の単元「比例」の接続に向けて－  
今井壱彦（埼玉大学大学院教育学研究科，大学院生）
- 14：45 ジェスチャーによるロボット操作を取り入れたワークショップの実践報告（仮）  
波形政輝（埼玉県立日高高等学校）  
菅原悠平（埼玉大学教育学研究科，大学院生）  
並木 惇（埼玉大学教育学研究科，大学院生）  
松寄昭雄（埼玉大学教育学部）
- 15：10 ジェスチャーによるロボット操作における数学的モデリングの調査に  
関する一考察（仮）  
－小学生を対象としたワークショップを事例として－  
並木 惇（埼玉大学教育学研究科，大学院生）  
菅原悠平（埼玉大学教育学研究科，大学院生）  
松寄昭雄（埼玉大学教育学部）
- 15：35 小学校における教材研究を考える  
－倍数・約数とトランプゲーム－  
古川 俊（神奈川学園精華小学校）
- 16：00 数学と言語  
－数学はほんとうに言語なのか？－  
植野義明（東京工芸大学工学部）
- 16：25 数学史と ICT を用いた実験授業における学習者の解答分析（仮）  
－2次方程式の虚数解の取り扱いに着目して－  
鈴木大樹（埼玉県立不動岡高等学校）
- 16：50 五感を活用した数学授業の提案に向けての一考察（仮）  
－身体化理論との比較に焦点を当てて－  
大川健史（浦和実業学園高等学校）

## 5. 会費

一般 2,000 円, 学生 500 円

## 6. 原稿提出期限, 原稿作成方法

(1) 原稿提出締切 8 月 18 日 (土) 17:00 まで

(2) 原稿フォーマット・原稿形式

- ・年会・例会フォーマットに準拠し, 頁数は最大 4 ページまでです。  
ページ番号は入れないで下さい。
- ・原稿 1 頁右上に, 「2018 年度数学教育学会夏季研究会 (関東エリア) 発表予稿集」と記入して下さい。
- ・原稿提出は, E-mail の添付ファイルにて, Word 形式と PDF 形式の両方を送信して下さい。

## 7. 原稿提出及び連絡先

埼玉大学教育学部 松寄昭雄 (E-mail : makio@mail.saitama-u.ac.jp)